

クーロン(カントー)橋建設計画【ベトナム】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 平成 23 年 3 月

1. 案件概要	
(1) 供与国名	ベトナム
(2) 案件名	クーロン(カントー)橋建設計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>国道1号線のうち同国最大の経済圏であるホーチミン市から南の区間において, メコン川の支流ハウ川を渡河する橋梁としてクーロン(カントー)橋及び付帯する道路を建設することにより, 交通需要を満たし, メコン・デルタ地域の社会・経済の発展に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土木工事 <p>ア 閣議決定日:平成 13 年3月 30 日 イ 供与限度額:248.47 億円 ウ 金利:0.95% エ 償還(据置)期間:40(10)年 オ 調達条件:日本タイド(監査部分のみ一般アンタイド)</p>
2. 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会的ニーズの現状</p> <p>カントー市は, メコン・デルタ地域におけるコメなどの農産物の集積地として重要な役割を担っている都市である。このカントー市に面するハウ川には橋梁が存在せず, 渡河にあたってはフェリーを利用しなければならない状況であり, 国道1号線の円滑な交通のボトルネックとなっている。</p> <p>このため, ハウ川を渡河するための橋梁及びその橋梁にアクセスする国道1号線からのバイパス道路を整備する必要性が生じている。</p> <p>ハウ川を渡河する日平均交通量は, 2020 年には 69,260 台に達する見込みであり, 当初計画時と現状では状況は大きく変</p>

	<p>ならず，社会的ニーズは依然として大きい。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状 調達手続き及び崩落事故に伴う遅延が発生したが2010年4月，橋梁は開通。2012年3月まで実施スケジュールを延長し，現在付帯道路の建設工事が順調に進捗している。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する社会的ニーズは引き続き大きく，事業遅延の要因は解消され，また，事業完成後は当初の見込み通りの効果が予測されることから，引き続き支援を継続していく。</p>
<p>3. 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anzen/zyoukyou.html) ・国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・国際協力機構のプレスリリース (http://www.jica.go.jp/press/index.html) ・国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・その他国際協力機構から提出された資料